

コミュニティなどの地域づくりの現状と課題

※以下の「●」は前回までの会議で委員から出された意見。「○」は前回の会議後に事務局がコミュニティセンター所長からお聞きした意見。

1. コミュニティ活動の運営や実動を担う人について

- コミュニティの役員などの気持ちを合わせる必要がある。
- コミュニティの運営に携わっている人の高齢化。
- コミュニティの役員の高齢化が進み、部会の役員改選もできないかもしれない。
- 自治会がなくなってしまうのではないかという危機感がある。
- イベントを企画するのは簡単だが、実行する人がいない。
- PTA に声をかけてもなかなか手伝ってもらえない。
- 事業の実施について、小学校の PTA から提案してくれるとコミュニティとして取り組みめるのだが、そのような提案がほとんどない。
- 地域おこし協力隊のような若い人の発想がほしい。

2. コミュニティ活動に参加する人、ほとんど関わりがない人について

- 新しい住宅は増えるが、新しく入ってきた人の組織化ができていない。
- 自治会に入らない世帯が増えており、自治会に加入していない人と交流できない。(令和 5 年 4 月 1 日現在の市全体の自治会加入率：47.9%)
- 自治会未加入の人に対して、地域に関する情報を発信できていないことが悩み。
- 地域活動に無関心な人に関心を持ってもらうことが課題。
- 地域の人がどういう思いを持っているのか分からない。
- コミュニティ活動の中身が見えると、これまで知らなかった人もコミュニティ活動に関わってくれるのではないか。
- コミュニティセンターの場所を知らない人が多い。
- 小学生がコミュニティセンターまで歩いてくる道順を知らない。以前は、小学校の行事の一つとして、学校からコミュニティセンターまで、車があまり走らない裏道を子どもたちが歩いてくるということがあったが、コロナ禍を境にそういう機会がなくなっている。

3. その他

- 新しい家が狭い道沿いにたくさん建っているので、小学生の交通事故発生が心配。
- 城坤地区には西汐入川と金倉川があるので、豪雨災害の発生が心配。宅地開発が行われ、田んぼの貯水機能が低下している。
- 城乾コミュニティで力を入れているのは防災。コミュニティのホームページに、防災

に特化したページをつくりたいと考えている。外国人住民が多いので、外国語（少なくとも、英語、スペイン語、中国語）にも対応したものにする予定。

○城北地区には家が密集している所があるが、空き家も増えている。

○土器町は河川氾濫、土砂災害、高潮とあらゆる自然災害発生可能性がある。